



HPS Japan
Hospital Play Specialist

ニュースレター

News Letter

<http://hps-japan.net/>

2019

Vol.13

May.

第8回日本小児診療多職種研究会

The 8th Japan Multi-Disciplinary pediatric Care Conference

大会テーマ

Every Child Matters

すべては子どものためにすべての子どものために
—共通のことばを探そう— 同じプラットフォームに立とう—
来年2月に開催される「第8回日本小児診療多職種研究会」
小児医療や診療にかかわる様々な専門家が一同に会し、
互いの専門性を尊重しながら、対等な立場で学び合う
フラットな研究会です！

参加者および口頭発表＆ポスター発表也大募集♪
ぜひ、この機会にHPSとしての日頃の取組みをご発表
ください。また会の参加について、看護師・検査技師・
薬剤師・作業療法士・保健師・CLS・保育士・養護教諭
etc. 関係各位に呼びかけをお願いします！

会頭
松平千佳



WEB演題登録（口頭発表・ポスター発表）期間

2019年7月1日 ▶ 9月30日（予定）

WEB参加登録期間

2019年8月1日 ▶ 11月29日（予定）

当日参加も受け付けます。会員でない方、学生の方もご参加いただけます。最新の情報はホームページを御覧ください。

<http://www.tashokushu2020.jp/>

演題登録・参加登録お待ちしております。



まずはご予約ください！

第8回日本小児診療多職種研究会

2020. 2. 1（土）・2（日）

静岡県立大学短期大学部

HPSスキルアップセミナー（予定）

2020. 1. 31（金）

静岡県立大学短期大学部

HPS養成講座 14クール修了

1名のHPSが誕生

日本生まれのHPS186名に！



14クール修了生 一言コメント

●岡田 真由（静岡ブロック）

所属：総合病院 聖隷浜松病院 小児病棟

HPSの資格取得後、念願の小児病棟で活動しています。実際に遊びが治療に向かう為のエネルギーになる様子を毎日実感しています。10数年ぶりの社会復帰で至らない事ばかりですがHPSの先輩方、病棟スタッフの方々に支えていただきながらHPSとして病院で過ごす子どもとその家族にとって何ができるのかを考え、焦らず成長していきたいと思っています。

●加藤 智子（名古屋ブロック）

所属：愛知県青い鳥医療療育センター

私は、現在医療型障害児入所施設の肢体不自由児、重症心身障害児が混在する生活病棟で働いています。日々子どもたちとの関わり、一つひとつを大切にしながら、HPSとしてすべき事、出来る事を模索している毎日です。学んだことを同僚や他職種と共有することで少しずつ理解も広がっていると感じています。

●佐藤 祐美（関東ブロック）

所属：埼玉医科大学病院

「遊び」という言葉は、大人になった私にとって今だに心をドキドキ、ワクワクさせてくれるものです。遊びには、その子の持ちうる力を引き出す、そんな力があります。HPS養成講座を通して、与えて頂いた知識や技術は自分自身を豊かにしてくれました。子どもにとっての優しい医療を目指し、一步ずつ自分に出ることから頑張っていきます。

●山田 彩花（名古屋ブロック）

所属：あいち小児保健医療総合センター

外来保育士として、日々たくさん子どもたちと関わっています。「医療への入り口」である外来でのHPS活動を充実させ、外来と病棟を繋げていくために今できることから一つずつ取り組んでいきたいと思っています。経験が浅い分、日々先輩方の姿から学び、いつまでも子どもたちにとって身近な存在であるHPSを目指していきます。

●山田 志津子（関東ブロック）

所属：東京都立府中療育センター 医療病棟

私は重症心身障害児（者）施設に勤務しています。利用者は、痛みや不安などの気持ちをスムーズに伝えることが困難です。HPSの役割として、「医療チームの一員としての役割」があります。私は、HPSとして利用者一人ひとりの訴えや気持ちの表現方法を丁寧に汲み取り、利用者の視線に立った支援方法を選択し、「遊び」を通じて利用者本位のサービスを提供していきたいと思っています。

●吉井 瑞穂（関西ブロック）

所属：京都府立医科大学附属病院 小児医療センター

子ども一人一人に合ったツールを活用することで、治療に前向きに関われることや、ディストラクション介入や遊びの大切さを感じることができています。様々なカンファレンスにも参加させて頂き、他職種との連携の大切さや各々の専門性の素晴らしさを感じHPSとしての視点で物事を捉え意見を述べられるよう精進して参ります。

週末2クール修了生 一言コメント

●岡田 美穂（関東ブロック）

所属：横浜市立大学附属病院 小児科病棟

私は、HPS取得することへの迷いがあり、1年間休学をしました。休学中、看護ケアに迷った時に思い出すのはHPSの視点でした。そして、1人では何も出来ないけれど、多職種協働によって何でも出来る事を実感しました。これからも、職場に必要な事を出来る事から、職場のみんなと一緒に取り組み、私なりのHPSの在り方を作っていきます。

HPS ブロック会 活動紹介

関東ブロック

関東ブロックは3か月に1回ブロック会を開催し、今年度は、活動報告、学習会や事例報告会、ワークショップの参加を予定しています。今年度から関東ブロック会員のLINEを開始しました。新規メンバーも加わり、日々のHPS活動に関する相談や情報交換の場として機能しています。3月には“おもちゃケア”にブースを出しました。学生、教員、医療職、療育・保育園職員など多くの方が来場され、興味深くHPSの活動をご覧になっていました。臨床ですぐできる遊びを求めている方が多く、「早速実践してみます」と前向きなご意見を沢山いただきました。当日は家族会はじめ他職種の活動紹介、おもちゃコンサルトの手作りおもちゃ製作、吉藤健太郎先生のご講演『人の繋がりで孤独を解消する分身ロボットOriHimeの挑戦』などが催され、私達にとっても貴重な学びの場となりました。今後も子どもたちに素敵な♪わくわく♪を届けられるよう、活動を充実させていきたいと思います。（文責：沼野博子）

プレパレーション
ディストラクション

ボルケーノ

肺のプレパレーション
ツールを作ろう

早速、子どもと
遊んでみます！

面白い！

びっくり！

喘息児の呼吸練習
に使ってみます！

おもちゃケア@成育医療センター
2019.3. 3

静岡ブロック

静岡ブロックには32名が所属しており、3ヶ月に1度のペースで、ブロック会を行っています。5月11日（土）に行われた第一回ブロック会では、14カールの修了生を新しいメンバーとして迎えたため、自己紹介を行いました。ブロック会の中ではHPSが監修したエムラクリームの冊子の紹介や情報交換をしました。またその中で「親ががんの子どもに対する支援」についての話題が出て、支援のための勉強方法や各病院での取り組みなど、支援の参考になる情報についての意見交換をしました。

年間計画のひとつに事例検討会を予定しています。事例検討会は静岡ブロックで毎年行っています。自分自身の関わりを振り返る機会として、他メンバーの活動を知り自分の活動に生かす機会として、有意義な会になるよう計画を進めていきます。今年度は静岡で日本小児診療多職種研究会があり、全国から多職種が集まり勉強できる良い機会となるため、計画、準備をメンバーで協力して進めていきたいと思っています。（文責：太田茜）



名古屋ブロック

名古屋ブロックでは、定期的な活動として2ヶ月に1回程度交流会を開催し、研修内容の共有や在宅支援の報告、ケース検討などを行っています。ケース検討では現場での事例をもとに関わりの振り返りや他にどのような支援が出来たか意見を出し合っています。

また先日は、シンポジウムでクレアが紹介していた腎臓移植すごろくの日本語訳版を遊んでみました！実際に遊び、子どもの理解度を知るのにとっても良いツールだと感じました。また「カードを増やしたらどうか」「勝負はつけた方がいいか」など遊んでみた感想、意見も共有できました。

昨年度は、SMA遊育支援ワークショップを開催。福祉車両の展示会や地域のイベントなどのワークショップの依頼も4件ほど受けました。今年度も依頼を頂いており、現在調整中です。

その他、ブロック費を使って講師を呼んでの勉強会を行い、更なるスキルアップに繋げていきたいと考えています。

(文責：野川智絵)



関西ブロック

関西ブロックは会員数50名を超え、メンバーが居住する地域も近畿の2府4県、中国、四国、九州、沖縄と西日本を広く横断しています。そこで、2か月に1回開催しているブロック会での意見や情報の交換は多様で、毎回大いに盛り上がりエネルギー場となっています。同時に医療に関わる子どもたちへ遊びの力を届けるために、HPSとしての新たな発見と気づき、勇気と元気を充電する時間となっています。「いつでも楽しく明るく笑いを込めて！」プラス「真剣に」がモットーの関西ブロック会。これからもますますメンバーのつながりを強化し、それぞれの経験を分かち合い、HPSとしての成長を図っていききたいと考えています。ブロック会では昨年、マグネットを使ったプレパレーショングッズを作成し、それぞれの職場で活用することを実施しました。今年度も新たな遊びツールを共同で考え、作成し活用していく予定です。また、2か月に1回開催するブロック会は直接参加できないメンバーがスカイプなどで参加できるよう工夫していくことを計画しています。その他には8月のあそびかたフェスタでの遊びブース出展やSMA遊育支援ワークショップ参加、保育や福祉関係の専門家の講演などを予定しています。

(文責：杉村恵子)



SMA家族会の遊育ワークショップにて



マグネットを使用して作成した手帳や検査のプレパレーショングッズ



HPS Japan
Hospital Play Specialist

NPO法人日本ホスピタル・プレイ協会
～すべての子どもの遊びと支援を考える会～
〒453-0041 名古屋市中村区本陣通5-6-1
地域資源長屋なかむら1階
TEL&FAX 054(202)2652
携帯 090(1822)3452
Mail info@hps-japan.net
事務局 南 伸予、木村 尚子

HPS Japan 静岡県立大学短期大学部
〒422-8021 静岡市駿河区小鹿2-2-1
TEL&FAX 054(202)2652
Mail hps-japan@u-shizuoka-ken.ac.jp
事務局 大長 友妃子